



令和3年度
福島小学校だより

ふくしま

第10号 11月19日
八女市立福島小学校
校長 安達 浩文

「学年スポーツフェスタ」やっと開催できました

当初は5月29日(土)に全校一斉に通常の運動会(スポーツフェスティバル)として行う予定でしたが、延期を余儀なくされ、6月に学年運動会として計画するも、再び延期することになり、ようやく11月16日(火)と17日(水)に学年スポーツフェスタとして行うことができました。



学年ごとに行う「良さ」は、密を回避できることもありますが、その他にもいくつか考えられます。通常の運動会では、一学年あたり2種目の演技の予定でした。(時短と熱中症対策です)しかし、学年ごとに行うことにより、演技種目を増やすことができました。また、高学年児童の役割になっている開会式、閉会式、運動会の進行、用具係等や学年によっては応援合戦を行ったりすることができ、子どもたちの出番を格段に増やすことができ、保護者の方々にも子どもたちのがんばる姿をたくさんお見せすることができました。子どもたちがひたむきに演技する姿は「美しい」ものです。一生懸命に取り組むことが「恥ずかしい」ことや「格好悪い」ことではなく「美しい」姿であることを伝えていきたいと思ひます。そして、このひたむきな「美しい」姿が、スポーツフェスタだけではなく学習にも、掃除にも、挨拶にも見られるようにしたいと思ひています。



PTA 役員の皆様には、朝早くから保護者の受付や手指消毒・検温等、大変お世話をおかけしました。お陰様で滞りなく学年スポーツフェスタを行うことができました。心から感謝申し上げます。また、保護者の皆様、ご参観ありがとうございました。今後12月14日・15日には持久走大会、年明けには各学年の親子ふれあい活動を予定しております。状況がどうなるのか予測が付きませんが、できるだけ教育活動を公開していきたいと考えています。ご来校をお待ちしております。



地域学校協働活動



この写真は、5年生家庭科「ミシンでソーイング」の授業で、地域の方々に来校いただき、ミシンボランティアとして指導の補助をしていただいている様子です。ミシンを使ってエプロンを縫います。子どもたちにとって初めて扱うミシンは難しく、糸が絡んだり、切れたり、機械の不具合が起こったりとなかなか進まないのですが、ミシンボランティアの皆さんのお陰でスムーズに完成に近づいています。

このミシンボランティアの皆さんは、「地域学校協働活動」の協働活動サポーターのみなさんです。福島小学校は昨年度よりコミュニティ・スクールに指定されています。コミュニティ・スクールとは「地域とともにある学校」を目指し、保護者や地域住民、教職員等で構成される「学校運営協議会」を設置した学校のことです。保護者や地域の方々と学校が力を合わせて、学校の運営や地域で子どもをどのように育てていくかを考え、取り組みます。また、同時に「地域学校協働活動事業」も行います。これは、地域住民の参画を得て、子どもたちの成長を支えていく様々な活動のことです。その取組の一つとしてこのミシンボランティアがあります。他にも書写(毛筆)や生活科の「昔あそび」の指導やグестティーチャー、学級園の整備や運動場の除草などの環境整備にも協力をお願いしているところです。

もし、「自分も関わってみたい」と考えをお持ちの方がおられましたら、学校までご連絡ください。この事業のコーディネーターの方につながさせていただきます。

